

# 「教材開発の基礎としての インストラクショナルデザイン」

## 第8講 魅力ある授業をつくる

菊池真也  
(岐阜女子大学・特任教授)

# 「魅力ある授業をつくる」

## 【目 的】

ガニエの9教授事象をもとに、魅力ある授業展開のあり方と教師の指導力について理解する。

## 【学習到達目標】

- a. 魅力ある授業をつくる教師の指導力について説明できる。
- b. ガニエの9教授事象について具体例をあげて説明できる。

# 「魅力ある授業をつくる」

## 魅力ある授業とは

画一的な教え込みの教師主導型の授業ではなく、教師の工夫によって子どもが教材や指導内容に引き付けられ、子どもが主体的・協同的に追求する授業



教師の指導力

# 「魅力ある授業をつくる」

## 教師の指導力

＜教師の指導力を支える3つの力＞

① 児童生徒理解力

② 授業力

・ 教材を研究する力

・ 授業を構成し展開する力

・ 授業を分析する力 など

③ 学級経営力

# 「ガニエの9教授事象」

## ガニエの9教授事象

	ガニエの9教授事象	社会科の授業の流れ
導	1. 学習者の注意を喚起する	→資料提示
	2. 学習目標を知らせる	→「なぜ～だろう」
入	3. 前提条件を確認する	→課題に対する予想
展	4. 新しい事項を提示する	→新たな資料の提示
	5. 学習の指針を与える	→個人追求（机間指導）
	6. 練習の機会を設ける	→全体交流「わかった」
開	7. フィードバックをする	→発言へのコメント
終	8. 学習の成果を評価する	→キーワードまとめ
末	9. 保持と転移を高める	→「自分の地域でも」

# 「魅力ある授業展開の工夫」

## 子どもを引き付ける導入の工夫 (あれ、なぜだろう)

- 1 学習者の注意を喚起する
  - ・奈良の大仏の実物大の手を提示
- 2 学習目標を知らせる
  - ・子どもの疑問を課題につなげる
- 3 前提条件を確認する
  - ・前時までの子どもの知識、経験の想起、確認

# 「魅力ある授業展開の工夫」

## 「わかった」が実感できる展開の工夫 (そうか、わかった)

- 4 新しい事項を提示する
  - ・ 既習事項と違う新たな資料の提示
- 5 学習の指針を与える
  - ・ 机間指導で子どもの実態に即した助言
- 6 練習の機会を設ける
  - ・ **自分の考えを仲間と交流して深める**
- 7 フィードバックをする
  - ・ 子どもの発言への適切なコメント

# 「魅力ある授業展開の工夫」

## 学習の成果の定着を図るまとめの工夫 (こうやればできるんだ)

- 8 学習の成果を評価する
  - ・ キーワードを使ってまとめる
  
- 9 保持と転移を高める
  - ・ 自分達の地域にも及んでいたことがわかる資料の提示→共通性

# 「教師の基礎基本」

## 教師が身に付けるべきスキル

- 1 発問・指示・説明
  - ・ 吟味された発問、明快な指示・説明
- 2 全体への目配りと個への心配り
- 3 板書計画
  - ・ 子どもが追求した過程が分かる板書
- 4 机間指導
- 5 子どもへの言葉かけ
  - ・ 位置付け、価値付け、方向付け

# 「教師の基礎基本」

## 子どもに身に付けさせたいスキル

- 1 聴く力
  - ・ 聞く(形で聞く)→聴く(中身で聴く)
- 2 話す力
  - ・ 比べながら聞き、「同じ、違う」で反応
- 3 話し合う力
  - ・ お話チームワーク→みんなでつないで深める

# 学習環境を整える

## 学習環境の工夫

- 1 掲示物の工夫
  - ・ 教科の学び方のよさが分かるノートの掲示→学習の仕方を広める
  - ・ 学び方のステップ表の掲示
- 2 授業に活かす学習環境の工夫
  - ・ 子ども達の主体的な追求を支える学習環境の工夫
  - ・ 学級の図書コーナーに教科の単元と関連する本を設置

# ワークショップ

- **ガニエの9教授事象をもとに、魅力ある授業をつくるのにどんな授業展開をするとよいのかを具体的な教科名や単元名をあげながら、グループで話し合って発表しなさい。**

## 【ポイント】

- (1) 子どもを引き付ける導入の工夫
- (2) 「わかった」が実感できる展開の工夫
- (3) 学習の成果の定着を図るまとめの工夫

# 「教材開発の基礎としての インストラクショナルデザイン」

## 第8講 魅力ある授業をつくる

菊池真也  
(岐阜女子大学・特任教授)